

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号  
実用新案登録第3181218号  
(U3181218)

(45) 発行日 平成25年1月31日 (2013. 1. 31)

(24) 登録日 平成25年1月9日 (2013. 1. 9)

(51) Int.Cl.

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

F 1

A 4 1 B 13/02

R

評価書の請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 17 頁)

(21) 出願番号	実願2012-6862 (U2012-6862)	(73) 実用新案権者	508262168
(22) 出願日	平成24年11月12日 (2012. 11. 12)		小川 和代
			東京都江東区東陽5丁目26番1号
		(74) 代理人	100110434
			弁理士 佐藤 勝
		(74) 代理人	100117547
			弁理士 須田 浩史
		(72) 考案者	小川 和代
			東京都江東区東陽5丁目26番1号

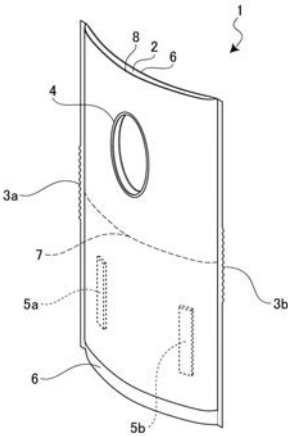
(54) 【考案の名称】尿取りパッド

(57) 【要約】

【課題】簡易且つ迅速に装着でき、快適に使用できる尿取りパッドを提供する。

【解決手段】この尿取りパッドは、シート状の吸収性部材と、上記吸収性部材の一方の面に貼り付けられた液不透過性部材からなるバックシートと、を備え、上記吸収性部材及び上記バックシートからなる積層体の略中央部よりも上の領域において当該積層体の長手方向に延びた開口部が設けられており、装着に際しては上記開口部より陰茎を挿入し、当該開口部よりも下に設けられた上記積層体の短手方向に平行な折曲部で上記積層体を上記バックシートが外面となるように折り曲げることを特徴とする。

【選択図】 図1



**【実用新案登録請求の範囲】****【請求項 1】**

シート状の吸収性部材と、  
上記吸収性部材の一方の面に貼り付けられた液不透過性部材からなるバックシートと、  
を備え、  
上記吸収部材及び上記バックシートからなる積層体の略中央部よりも上の領域において  
当該積層体の長手方向に延びた開口部が設けられており、  
装着に際しては上記開口部より陰茎を挿入し、当該開口部よりも下に設けられた上記積  
層体の短手方向に平行な折曲部で上記積層体を上記バックシートが外面となるように折り  
曲げること  
を特徴とする尿取りパッドが提供される。

10

**【請求項 2】**

上記吸収性部材の他方の面には液透過性部材からなるトップシートが貼り付けられてい  
ること  
を特徴とする請求項 1 に記載の尿取りパッド。

**【請求項 3】**

上記バックシートの中央より下方の領域には、上記積層体の長手方向に平行となるよう  
に所定長の粘着テープが設けられていること  
を特徴とする請求項 1 に記載の尿取りパッド。

20

**【請求項 4】**

上記積層体の長手方向に延びた両端の略中央部分に所定長だけ糸ゴム入りのギャザーが  
設けられていること  
を特徴とする請求項 1 に記載の尿取りパッド。

**【請求項 5】**

吸収性部材と、当該吸収性部材の一方の面に貼り付けられたバックシートとを有する積  
層体を、備え、上記積層体の長手方向の両端が接合部で接合することで、上部及び下部の  
少なくともいずれかが開口した中空の筒状体に成形され、上記積層体の長手方向の略中央  
から上部にかけて所定長の開口部が設けられていること  
を特徴とする尿取りパッド。

30

**【請求項 6】**

上記吸収性部材の他方の面には液透過性部材からなるトップシートが貼り付けられてい  
ること  
を特徴とする請求項 5 に記載の尿取りパッド。

**【請求項 7】**

上記バックシートの開口部の配設位置と対向する面には、所定長の粘着テープが設けら  
れていること  
を特徴とする請求項 5 に記載の尿取りパッド。

**【請求項 8】**

上記積層体の上部の開口部には、略 U 字状のくぼみ部が設けられていること  
を特徴とする請求項 5 に記載の尿取りパッド。

40

**【考案の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本考案は、例えば紙おむつ等の中に重ねて装着する尿取りパッドに関する。

**【背景技術】****【0002】**

従来、成人用の使い捨ておむつと併せて、尿取りパッドが広く使われている。特に男性  
用の尿取りパッドには、男性器を覆うようなタイプのものがある。これは、尿を効率良く  
吸収することができ、排尿の度に当該尿取りパッドだけを交換すればよいので、経済的負  
担を軽減することができ、しかも衛生状態を保つことができる。

50

## 【 0 0 0 3 】

ここで、例えば、特許文献 1 では、男性用尿取りパッドが開示されている。即ち、同技術では、陰茎を収納するように袋状に形成した尿取りパッドの、睾丸に当接する側の外面に汗を吸収する生理ナプキンを貼付し、尿取りパッドの外面側の不透液性シートが当接される睾丸や股間の局部での発汗を吸収する。

## 【 先行技術文献 】

## 【 特許文献 】

## 【 0 0 0 4 】

【 特許文献 1 】 特開 2 0 1 0 - 3 5 6 9 1 号公報

## 【 考案の概要 】

10

## 【 考案が解決しようとする課題 】

## 【 0 0 0 5 】

しかしながら、上記特許文献 1 に開示された男性用尿取りパッドは、外面側の左側下部と右側中央部に両面接着テープが設けられており、使用時には折り畳んで、両面接着テープで接着して、先細りの袋状に形成して使用される。従って、袋状に形成するのに手間がかかり、単に折り畳んだ袋状なので、陰茎の装着部分に快適さを向上させる工夫もされておらず、装着状態も安定しない。

## 【 0 0 0 6 】

そこで、本考案は上述した技術的な課題に鑑みてなされたもので、簡易且つ迅速に装着することができ、快適に使用できる尿取りパッドを提供することを目的とする。

20

## 【 課題を解決するための手段 】

## 【 0 0 0 7 】

上述したような技術的な課題を解決するため、本考案の第 1 の態様に係る尿取りパッドは、シート状の吸収性部材と、上記吸収性部材の一方の面に貼り付けられた液不透過性部材からなるバックシートと、を備え、上記吸収部材及び上記バックシートからなる積層体の略中央部よりも上の領域において当該積層体の長手方向に延びた開口部が設けられており、装着に際しては上記開口部より陰茎を挿入し、当該開口部よりも下に設けられた上記積層体の短手方向に平行な折曲部で上記積層体を上記バックシートが外面となるように折り曲げることを特徴とする。

## 【 0 0 0 8 】

30

本考案の第 2 の態様に係る尿取りパッドは、吸収性部材と、当該吸収性部材の一方の面に貼り付けられたバックシートとを有する積層体を、備え、上記積層体の長手方向の両端が接合部で接合することで、上部及び下部の少なくともいずれかが開口した中空の筒状体に成形され、上記積層体の長手方向の略中央から上部にかけて所定長の開口部が設けられていることを特徴とする。

## 【 考案の効果 】

## 【 0 0 0 9 】

本考案によれば、簡易且つ迅速に装着することができ、快適に使用できる尿取りパッドを提供することができる。

## 【 図面の簡単な説明 】

40

## 【 0 0 1 0 】

【 図 1 】 本考案の第 1 の実施形態に係る尿取りパッドの構成図である。

【 図 2 】 本考案の第 1 の実施形態に係る尿取りパッドの使用態様図である。

【 図 3 】 本考案の第 1 の実施形態に係る尿取りパッドの使用状態を示す図である。

【 図 4 】 本考案の第 1 の実施形態に係る尿取りパッドの使用状態を示す図である。

【 図 5 】 本考案の第 2 の実施形態に係る尿取りパッドの構成図である。

【 図 6 】 本考案の第 2 の実施形態に係る尿取りパッドの使用状態を示す図である。

【 図 7 】 本考案の第 3 の実施形態に係る尿取りパッドの構成図である。

【 図 8 】 本考案の第 3 の実施形態に係る尿取りパッドの使用状態を示す図である。

【 図 9 】 本考案の第 4 の実施形態に係る尿取りパッドの構成図である。

50

【図 10】本考案の第 5 の実施形態に係る尿取りパッドの構成図である。

【考案を実施するための形態】

【0011】

以下、本考案の尿取りパッドに係る好適な実施形態について図面を参照しながら説明する。なお、本考案の尿取りパッドは、以下の記述に限定されるものではなく、本考案の要旨を逸脱しない範囲において、適宜変更可能である。

【0012】

(第 1 の実施形態)

図 1 には本考案の第 1 の実施形態に係る尿取りパッドの構成図を示し、図 2 には当該尿取りパッドの使用態様図を示し、図 3, 4 には本考案の第 1 の実施形態に係る尿取りパッドの使用状態を示し、説明する。

10

【0013】

図 1 に示されるように、尿取りパッド 1 は、シート状の吸収性部材 2 からなり、当該吸収性部材 2 の一方の面（装着時に外表面に相当）にはバックシート 6 が、他方の面（装着時に内表面に相当）にはトップシート 8 が、貼り付けられている。即ち、この尿取りパッド 1 は、トップシート 8 と吸収性部材 2、バックシート 6 の積層体からなる。但し、吸収性部材 2 の単層、或いは吸収性部材 2 とバックシート 6 との複層としてもよいことは勿論である。

【0014】

吸収性部材 2 としては、高吸水性ポリマー、親水性シート、フラッフパルプ等を採用することができる。これに加えて、熱融着繊維等の合成繊維を含んだものを用いて型崩れを防止してもよい。また、吸収性部材 2 は、複層のマット状でもよい。

20

【0015】

トップシート 8 は、少なくともその一部が液透過性部材により構成されている。液透過性部材としては、不織布、多孔性フィルム等、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、ナイロン等の熱可塑性樹脂からなる不織布に親水化処理を施したものをを用いることができる。

【0016】

そして、バックシート 6 は、液不透過性部材により構成されている。例えば、ポリエチレン等の樹脂からなる液不透過性フィルム等を採用できる。また、液不透過性フィルムに不織布を貼り付けたフィルムからなるものも採用してもよい。

30

【0017】

尿取りパッド 1 は、その長手方向に延びた両端の略中央部分に所定長だけ糸ゴム入りのギャザー 3 a, 3 b が設けられており、略中央部分に短手方向に平行に設けられた折曲部 7 での折り曲げを容易ならしめている。尿取りパッド 1 は、例えば長手方向に約 30 ~ 40 cm、短手方向に約 13 ~ 15 cm の矩形状となっているが、これには限定されないことは勿論である。

【0018】

尿取りパッド 1 の吸収性部材 2、トップシート 8、バックシート 6 は、前述したように積層されているが、積層体の略中央部よりも上の領域において、長手方向に延びた楕円形の開口部 4 が設けられている。これは、装着時にペニスを挿入する部分である。尚、開口部 4 の形状は楕円形に限らず、円形、矩形状、いずれの形状でもよい。但し、縦長の楕円形とした場合には、陰茎の多様なサイズに装着位置を対応させることが可能となる。

40

【0019】

尿取りパッド 1 のバックシート 6 の中央より下方の領域には、長手方向に平行となるように所定長の 2 本の粘着テープ 5 a, 5 b が設けられている。この粘着テープ等を用いれば、尿取りパッド 1 を衣類や紙おむつ等の内側にしっかりと固定することができ、位置ずれを有効に防止することができる。なお、粘着テープとしては、衣類や紙おむつ等に使用されている公知の粘着テープを採用することができ、使用前には粘着力低下を防止する為に、粘着部分を保護しておいてよい。また、粘着テープの数は 2 つに限定されないことは

50

勿論である。

【 0 0 2 0 】

次に、実際の使用態様について説明する。

【 0 0 2 1 】

図 2 に示されるように、実際に使用する際には、バックシート 6 の略中央よりも上方の領域が陰部の肌に当接するように当てがい、その際に開口部 4 にペニスを挿入する。そして、トップシート 8 が内側となるように、折曲部 7 で吸収性部材 2 を折り畳む。このとき折曲部 7 の両端はギャザー 3 a , 3 b となっているので、簡易に折り曲げることが可能である。この折り曲げにより、ペニスは 2 つ折りにされたトップシート 8 により表裏を覆われることになる。従って、放尿された尿はトップシート 8 を介して、吸収性部材 2 により確実に吸収されることになる。

10

【 0 0 2 2 】

図 3 , 4 は、実際に紙おむつの中で尿取りパッド 1 を併用する様子を示している。この図 3 に示されるように、2 つに吸収性部材 2 を折り畳むと、バックシート 6 の略半分が前面に向くのでそのバックシート 6 に設けられた粘着テープ 5 a ( 5 b ) が、紙おむつ側の内面に向くことになる。そこで、当該粘着テープ 5 a ( 5 b ) を紙おむつの内面にしっかりと貼り付ければ、位置ずれしないように固定することが可能となる。

【 0 0 2 3 】

以上説明したように、本考案の第 1 の実施形態によれば、シート状の吸収性部材 2 と上記吸収性部材 2 の一方の面に貼り付けられた液不透過性部材からなるバックシート 6 とを備え、上記吸収部材 2 及び上記バックシート 6 を有する積層体の略中央部よりも上の領域において当該積層体の長手方向に延びた開口部 4 が設けられており、装着に際しては上記開口部 4 よりペニスが挿入され、当該開口部 4 よりも下に設けられた上記積層体の短手方向に平行な折曲部 7 で上記積層体を上記バックシート 6 が外面となるように 2 つに折り曲げることを特徴とする尿取りパッドが提供される。

20

【 0 0 2 4 】

ここで、上記吸収性部材 2 の他方の面には液透過性部材からなるトップシート 8 が貼り付けられてもよい。

【 0 0 2 5 】

さらに、上記バックシート 6 の中央より下方の領域には、上記積層体の長手方向に平行となるように所定長の粘着テープ 5 a , 5 b が設けられていてよい。

30

【 0 0 2 6 】

また、上記積層体の長手方向に延びた両端の略中央部分に所定長だけ糸ゴム入りのギャザー 3 a , 3 b が設けられていることとしてもよい。

【 0 0 2 7 】

従って、第 1 の実施形態に係る尿取りパッドによれば、2 つ折りにするだけで簡易に装着できると共に、紙おむつ等との併用に際して当該紙おむつとの位置関係を維持することができ、簡易な構成であることから製造コストも大幅に削減することができる。また、装着された後においても、左右の両端が開いているので、通気性がよく、快適な使用感をユーザに与えることができる。

40

【 0 0 2 8 】

( 第 2 の実施形態 )

図 5 には本考案の第 2 の実施形態に係る尿取りパッドの構成図を示し、図 6 には当該尿取りパッドの使用状態を示し、説明する。

【 0 0 2 9 】

図 5 に示されるように、尿取りパッド 1 0 は、吸収性部材 1 2 と、当該吸収性部材 1 2 の一方の面に貼り付けられたトップシート 1 1 と、他方の面に貼りつけられたバックシート 1 3 と、からなる積層体 1 4 により構成されている。そして、積層体 1 4 は、接合部 1 7 で両端を接合することで、開口部が楕円形状の中空の筒状体に成形されており、トップシート 1 1 は筒状体の内側、バックシート 1 3 は筒状体の外側に位置する。尚、吸収性部

50

材 1 2 のみの単層、或いは吸収性部材 1 2 とバックシート 1 3 とからなる複層で構成してもよいことは勿論である。

【 0 0 3 0 】

吸収性部材 1 2 としては、高吸水性ポリマー、親水性シート、フラッフパルプ等を採用することができる。これに加えて、熱融着繊維等の合成繊維を含んだものを用いて型崩れを防止してもよい。また、吸収性部材 1 2 は、複層のマット状でもよい。

【 0 0 3 1 】

トップシート 1 1 は、少なくともその一部が液透過性部材により構成されている。液透過性部材としては、不織布、多孔性フィルム等、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、ナイロン等の熱可塑性樹脂からなる不織布に親水化処理を施したものを用いることができる。

10

【 0 0 3 2 】

そして、バックシート 1 3 は、液不透過性部材により構成されている。例えば、ポリエチレン等の樹脂からなる液不透過性フィルム等を採用できる。また、液不透過性フィルムに不織布を貼り付けたフィルムからなるものも採用してもよい。

【 0 0 3 3 】

積層体 1 4 は、上部と下部に開口部 1 8 , 1 5 があり、筒状で中空となっている。上部の開口部 1 8 の直径は例えば約 1 3 ~ 1 5 c m、下部の開口部の直径は例えば約 3 ~ 4 c mとなっている。つまり、積層体 1 4 は、上部からしばらく略同じ径の筒状の形状が続いた後、下方にて直径が段階的に小さくなるように構成されている。所謂先細りの形状である。

20

【 0 0 3 4 】

そして、積層体 1 4 には、その長手方向の略中央から上部にかけて所定長縦長の楕円形の開口部 1 9 が設けられている。この開口部 1 9 は、装着時にペニスを挿入するためのものである。開口部 1 9 の長手方向の径は例えば約 1 0 c m、尿取りパッド 1 0 の全体の長手方向の長さは例えば約 2 0 ~ 2 5 c mとなっている。尚、開口部 1 9 の形状は楕円形に限定されるものではなく、円形、矩形等、種々の形状とすることができる。縦長楕円形の形状とした場合には、多種多様な陰茎のサイズに合わせて、装着位置の位置合わせを容易に行うことを可能ならしめる。

【 0 0 3 5 】

更に、バックシート 1 3 の、開口部 1 9 の配設位置と対向する面には、尿取りパッド 1 0 の長手方向に平行となるように、所定長の 2 本の粘着テープ 1 6 a , 1 6 b が設けられている。この粘着テープ等を用いれば、尿取りパッド 1 0 を衣類や紙おむつ等の内側にしっかりと固定することができ、位置ずれを有効に防止することができる。なお、粘着テープとしては、衣類や紙おむつ等に使用されている公知の粘着テープを採用でき、使用前には粘着力低下を防止する為に、粘着部分を保護しておいてよい。粘着テープは 2 本に限らないことは勿論である。

30

【 0 0 3 6 】

図 6 は、実際に紙おむつの中で尿取りパッド 1 0 を併用する様子を示している。この図 6 に示されるように、開口部 1 9 からペニスを挿入すると、筒状の積層体 1 4 によりペニスは被覆される。この装着状態では、開口部 1 9 に対向するバックシート 1 3 の領域が前面に向くのでそのバックシート 1 3 に設けられた粘着テープ 1 6 a ( 1 6 b ) が、紙おむつ側の内面に向くことになる。そこで、当該粘着テープ 1 6 a ( 1 6 b ) を紙おむつの内面にしっかりと貼り付ければ、位置ずれしないように固定することが可能となる。

40

【 0 0 3 7 】

以上説明したように、本考案の第 2 の実施形態によれば、吸収性部材 1 2 と、当該吸収性部材 1 2 の一方の面に貼り付けられたバックシート 1 3 とを有する積層体 1 4 を備えており、上記積層体 1 4 の長手方向の両端が接合部 1 7 で接合することで、上部及び下部が開口 1 8 , 1 5 した中空の筒状体に成形され、上記積層体 1 4 の長手方向の略中央から上部にかけて所定長の開口部 1 9 が設けられていること、を特徴とする尿取りパッド 1 0 が

50

提供される。

【0038】

ここで、上記吸収性部材12の他方の面には液透過性部材からなるトップシート11が貼り付けられてもよい。

【0039】

さらに、上記バックシート13の開口部19の配設位置と対向する面には、長手方向に平行となるように、所定長の粘着テープ16a, 16bが設けられていてよい。

【0040】

従って、第2の実施形態に係る尿取りパッドによれば、開口部19にペニスを挿入するだけで簡易に装着できると共に、紙おむつ等との併用に際して当該紙おむつとの位置関係を維持することができ、簡易な構成であることから製造コストも大幅に削減することができる。また、装着された後においても、上部及び下部が開口部18, 15により開いているので、通気性がよく、快適な使用感をユーザに与えることができる。また、この開口部18, 15に指を入れて装着作業をすることもでき、作業効率が良い。さらに、ペニスを包み込む構成なので、しっかりと尿を吸収することができる。

10

【0041】

(第3の実施形態)

図7には本考案の第3の実施形態に係る尿取りパッドの構成図を示し、図8には当該尿取りパッドの使用状態を示し、説明する。

【0042】

図7に示されるように、尿取りパッド20は、吸収性部材22と、その一方の面に貼り付けられたトップシート21と、他方の面に貼りつけられたバックシート23と、からなる積層体24により構成されている。そして、積層体24は、接合部26で両端並びに下端を接合することで、開口部が楕円形状の中空の筒状体に成形されており、トップシート21は筒状体の内側、バックシート23は筒状体の外側に位置する。尚、吸収性部材22のみの単層、或いは吸収性部材22とバックシート23からなる複層で構成してもよいことは勿論である。積層体24は、両端並びに下端が接合されているので、所謂袋状になっている。

20

【0043】

吸収性部材22としては、高吸水性ポリマー、親水性シート、フラッフパルプ等を採用することができる。これに加えて、熱融着繊維等の合成繊維を含んだものを用いて型崩れを防止してもよい。また、吸収性部材22は、複層のマット状でもよい。

30

【0044】

トップシート21は、少なくともその一部が液透過性部材により構成されている。液透過性部材としては、不織布、多孔性フィルム等、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、ナイロン等の熱可塑性樹脂からなる不織布に親水化処理を施したものをを用いることができる。

【0045】

そして、バックシート23は、液不透過性部材により構成されている。例えば、ポリエチレン等の樹脂からなる液不透過性フィルム等を採用できる。また、液不透過性フィルムに不織布を貼り付けたフィルムからなるものも採用してもよい。

40

【0046】

積層体24は、上部にのみ開口部27があり、中空となっている。上部の開口部27の直径は例えば約13~15cmとなっている。積層体24は、上部からしばらく同じ径の筒状が続いた後、下方にて直径が段階的に小さくなるように構成されている。いわゆる先細りの形状となっている。

【0047】

そして、積層体24には、その長手方向の略中央から上部にかけて所定長縦長の楕円形の開口部28が設けられている。この開口部28は、装着時にペニスを挿入するためのものである。開口部28の長手方向の径は例えば約10cm、尿取りパッド20の全体の長

50

手方向の長さは例えば約 20 ~ 25 cm となっている。尚、開口部 28 は、楕円形に限定されることなく、例えば円形、矩形等、種々の形状とすることができる。縦長の楕円形とした場合には、尿取りパッド 20 が、様々なサイズの陰茎にフィットするよう位置合わせをすることが可能となる。

#### 【0048】

さらに、バックシート 23 の、開口部 28 の配設位置と対向する面には、尿取りパッド 20 の長手方向に平行となるように、所定長の 2 本の粘着テープ 25 a, 25 b が設けられており、更に短手方向に平行となるように、所定長の 1 本の粘着テープ 25 c が設けられている。この粘着テープ等を用いれば、尿取りパッド 20 を衣類や紙おむつ等の内側にしっかりと固定することができ、位置ずれを有効に防止することができる。なお、粘着テープとしては、衣類や紙おむつ等に使用されている公知の粘着テープを採用でき、使用前には粘着力低下を防止する為に、粘着部分を保護しておいてよい。粘着テープの数は 3 本に限定されるものではない。

10

#### 【0049】

図 8 は、実際に紙おむつの中で尿取りパッド 20 を併用する様子を示している。この図 8 に示されるように、開口部 28 からペニスを挿入すると、筒状の積層体 24 によりペニスは被覆される。この装着状態では、開口部 28 に対向するバックシート 23 の領域が前面に向くのでそのバックシート 23 に設けられた粘着テープ 25 a (25 b), 25 c が紙おむつ側の内面に向くことになる。そこで、当該粘着テープ 25 a (25 b), 25 c を紙おむつの内面にしっかりと貼り付ければ、位置ずれしないように固定可能となる。

20

#### 【0050】

以上説明したように、本考案の第 3 の実施形態によれば、吸収性部材 22 と、当該吸収性部材 22 の一方の面に貼り付けられたバックシート 23 とを有する積層体 24 を備えており、上記積層体 24 の長手方向の両端が接合部 26 で接合することで、上部が開口 27 した中空の筒状体に成形され、上記積層体 24 の長手方向の略中央から上部にかけて所定長の開口部 28 が設けられていること、を特徴とする尿取りパッド 20 が提供される。

#### 【0051】

ここで、上記吸収性部材 22 の他方の面には液透過性部材からなるトップシート 21 が貼り付けられてもよい。

#### 【0052】

さらに、上記バックシート 23 の開口部 28 の配設位置と対向する面には、長手方向に平行となるように、所定長の粘着テープ 25 a, 25 b が設けられ、短手方向と平行となるように、所定長の粘着テープ 25 c が設けられていてよい。

30

#### 【0053】

従って、第 3 の実施形態に係る尿取りパッドによれば、開口部 28 にペニスを挿入だけで簡易に装着できると共に、紙おむつ等との併用に際して当該紙おむつとの位置関係を維持することができ、簡易な構成であることから製造コストも大幅に削減することができる。また、下部が閉じられているので、長時間の運転や労働、会議等でも、しっかりと尿を吸収することができるので、安心して着用することができる。

#### 【0054】

40

#### (第 4 の実施形態)

図 9 には本考案の第 4 の実施形態に係る尿取りパッドの構成図を示し説明する。

#### 【0055】

図 9 に示されるように、尿取りパッド 30 は、吸収性部材 32 と、その一方の面に貼り付けられたトップシート 31 と、他方の面に貼りつけられたバックシート 33 と、からなる積層体 34 により構成されている。そして、積層体 34 は、接合部 37 で両端を接合することで、開口部が楕円形状の中空の筒状体に成形されており、トップシート 31 は筒状体の内側、バックシート 33 は筒状体の外側に位置する。尚、吸収性部材 32 のみの単層或いは吸収性部材 32 とバックシート 33 との複層で構成してもよい。

#### 【0056】

50



吸収性部材 32 としては、高吸水性ポリマー、親水性シート、フラッフパルプ等を採用することができる。これに加えて、熱融着繊維等の合成繊維を含んだものを用いて型崩れを防止してもよい。また、吸収性部材 32 は、複層のマット状でもよい。

【0057】

トップシート 31 は、少なくともその一部が液透過性部材により構成されている。液透過性部材としては、不織布、多孔性フィルム等、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、ナイロン等の熱可塑性樹脂からなる不織布に親水化処理を施したものをを用いることができる。

【0058】

そして、バックシート 33 は、液不透過性部材により構成されている。例えば、ポリエチレン等の樹脂からなる液不透過性フィルム等を採用できる。また、液不透過性フィルムに不織布を貼り付けたフィルムからなるものも採用してもよい。

【0059】

積層体 34 は、上部と下部に開口部 38, 35 があり、中空となっている。上部の開口部 38 の直径は例えば約 13 ~ 15 cm、下部の開口部 35 の直径は例えば約 3 ~ 4 cm となっている。但し、これには限定されない。つまり、積層体 34 は、上部からしばらく同じ径の筒状が続いた後、下方にて直径が段階的に小さくなるように構成されている。そして、上部の開口部 38 には、略 U 字状のくぼみ部 39 が設けられている。これは、装着時にペニスを尿取りパッド 30 の内部へ挿入するためのものである。

【0060】

更に、バックシート 33 のくぼみ部 39 の配設位置と対向する面には、尿取りパッド 30 の短手方向に平行となるように、所定長の 2 本の粘着テープ 36a, 36b が設けられている。この粘着テープ等を用いれば、尿取りパッド 30 を衣類や紙おむつ等の内側にしっかりと固定することができ、位置ずれを有効に防止することができる。なお、粘着テープとしては、衣類や紙おむつ等に使用されている公知の粘着テープを採用でき、使用前には粘着力低下を防止する為に、粘着部分を保護しておいてよい。粘着テープの数は 2 本には限定されないことは勿論である。

【0061】

以上説明したように、本考案の第 4 の実施形態によれば、吸収性部材 32 と、当該吸収性部材 32 の一方の面に貼り付けられたバックシート 33 とを有する積層体 34 を備えており、上記積層体 34 の長手方向の両端が接合部 37 で接合することで、上部及び下部が開口 38, 35 した中空の筒状体に成形され、上記積層体 34 の上記上部の開口部 38 に略 U 字状のくぼみ部 39 が設けられていること、を特徴とする尿取りパッド 30 が提供される。

【0062】

従って、第 4 の実施形態に係る尿取りパッドによれば、くぼみ部 39 よりペニスを尿取りパッド 30 の内部に挿入するだけで簡易に装着できると共に、紙おむつ等との併用に際して当該紙おむつとの位置関係を維持することができ、簡易な構成であることから製造コストも大幅に削減することができる。また、装着された後においても、上部及び下部が開口部 38, 35 により開いているので、通気性がよく、快適な使用感をユーザに与えることができる。また、この開口部 38, 35 に指を入れて装着作業をすることもでき、作業効率がよい。さらに、ペニスを包み込む構成なので、しっかりと尿を吸収することができる。

【0063】

(第 5 の実施形態)

図 10 には本考案の第 5 の実施形態に係る尿取りパッドの構成図を示し説明する。

【0064】

図 10 に示されるように、尿取りパッド 40 は、吸収性部材 42 と、その一方の面に貼り付けられたトップシート 41 と、他方の面に貼り付けられたバックシート 43 と、からなる積層体 44 により構成されている。そして、積層体 44 は、接合部 46 で両端並びに

下端を接合することで、開口部が楕円形状の中空の筒状体に成形されており、トップシート 4 1 は筒状体の内側、バックシート 4 3 は筒状体の外側に位置する。尚、吸収性部材 4 2 の単層、或いは吸収性部材 4 2 とバックシート 4 3 との複層により構成してもよい。

【0065】

吸収性部材 4 2 としては、高吸水性ポリマー、親水性シート、フラッフバルブ等を採用することができる。これに加えて、熱融着繊維等の合成繊維を含んだものを用いて型崩れを防止してもよい。また、吸収性部材 4 2 は、複層のマット状でもよい。

【0066】

トップシート 4 1 は、少なくともその一部が液透過性部材により構成されている。液透過性部材としては、不織布、多孔性フィルム等、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリエステル、ナイロン等の熱可塑性樹脂からなる不織布に親水化処理を施したものをを用いることができる。

【0067】

そして、バックシート 4 3 は、液不透過性部材により構成されている。例えば、ポリエチレン等の樹脂からなる液不透過性フィルム等を採用できる。また、液不透過性フィルムに不織布を貼り付けたフィルムからなるものも採用してもよい。

【0068】

積層体 4 4 は、上部にのみ開口部 4 7 があり、中空となっている。上部の開口部 4 7 の直径は例えば約 13 ~ 15 cm となっている。積層体 4 4 は、上部からしばらく同じ径の筒状が続いた後、下方にて直径が段階的に小さくなるように構成されている。そして、積層体 4 4 には、その開口部 4 7 に略 U 字状のくぼみ部 4 8 が形成されている。このくぼみ部 4 8 は、装着時にペニスを尿取りパッド 4 0 の内部に挿入するためのものである。くぼみ部 4 8 の形状は略 U 字状には限定されるものではなく、略 V 字状でもよい。

【0069】

さらに、バックシート 4 3 のくぼみ部 4 8 の配設位置と対向する面には、尿取りパッド 4 0 の短手方向に平行となるように、所定長の 2 本の粘着テープ 4 5 a , 4 5 b が設けられている。この粘着テープ等を用いれば、尿取りパッド 4 0 を衣類や紙おむつ等の内側にしっかりと固定することができ、位置ずれを有効に防止することができる。なお、粘着テープとしては、衣類や紙おむつ等に使用されている公知の粘着テープを採用でき、使用前には粘着力低下を防止する為に、粘着部分を保護しておいてよい。

【0070】

以上説明したように、本考案の第 5 の実施形態によれば、吸収性部材 4 2 と、当該吸収性部材 4 2 の一方の面に貼り付けられたバックシート 4 3 とを有する積層体 4 4 を備えており、上記積層体 4 4 の長手方向の両端が接合部 4 6 で接合することで、上部が開口 4 7 した中空の筒状体に成形され、上記積層体 4 4 の上記上部の開口部 4 7 に略 U 字状のくぼみ部 4 8 が設けられていること、を特徴とする尿取りパッド 4 0 が提供される。

【0071】

従って、第 5 の実施形態に係る尿取りパッドによれば、開口部 4 7 のくぼみ部 4 8 より尿取りパッドの内部にペニスを挿入するだけで簡易に装着できると共に、紙おむつ等との併用に際して当該紙おむつとの位置関係を維持することができ、簡易な構成であることから製造コストも大幅に削減することができる。また、下部が閉じられているので、長時間の運転や労働、会議等でも、しっかりと尿を吸収することができるので、安心して着用することができる。

【0072】

以上、本考案の実施形態について説明したが、本考案はこれに限定されることなく、その主旨を逸脱しない範囲で種々の改良・変更が可能である。例えば、第 1 の実施形態では積層体を略中央部の折曲部で 2 つ折りにする例を示したが、これに限定されることなく左右に 2 つ折りする構成としてもよい。更に、バックシートの陰部の肌に当接する部分にガーゼ等、吸汗性部材を貼り付けてもよい。さらに、第 2 乃至第 5 の実施形態では、楕円形状の開口部を設けた例を示したが、開口部は楕円形に限定されず、円形、四角形等、種々

10

20

30

40

50

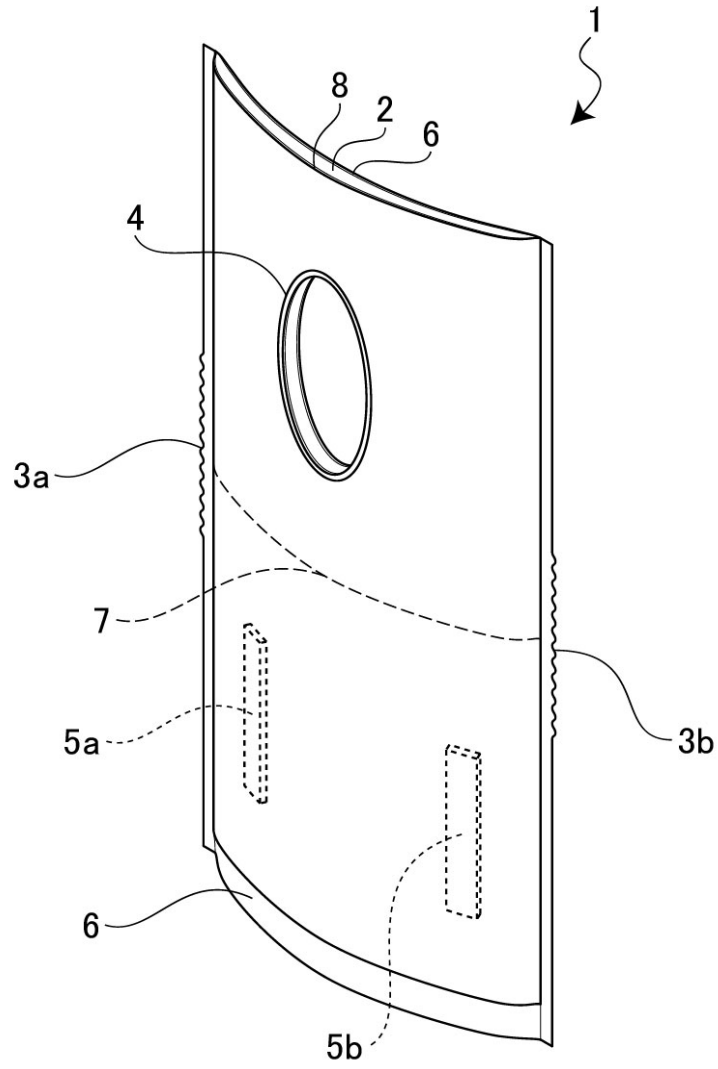
の形状とすることが可能である。

【符号の説明】

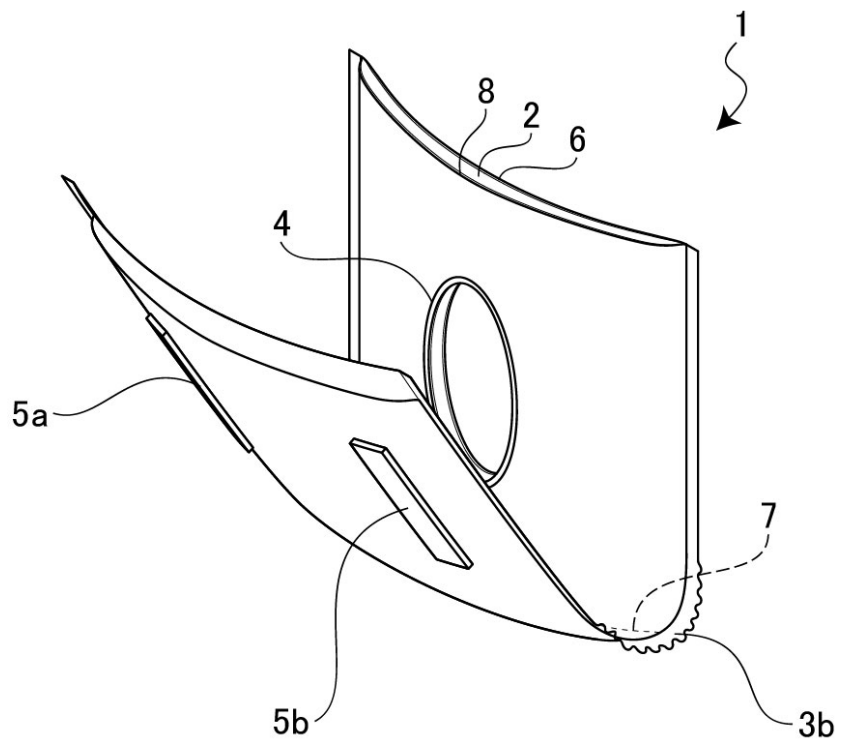
【0073】

1	尿取りパッド	
2	吸収性部材	
3 a , 3 b	ギャザー	
4	開口部	
5 a , 5 b	粘着テープ	
6	バックシート	
7	折曲部	10
8	トップシート	
10	尿取りパッド	
11	トップシート	
12	吸収性部材	
13	バックシート	
14	積層体	
15	開口部	
16 a , 16 b	粘着テープ	
17	接合部	
18	開口部	20
19	開口部	
20	尿取りパッド	
21	トップシート	
22	吸収性部材	
23	バックシート	
24	積層体	
25 a , 25 b , 25 c	粘着テープ	
26	接合部	
27	開口部	
28	開口部	30
30	尿取りパッド	
31	トップシート	
32	吸収性部材	
33	バックシート	
34	積層体	
35	開口部	
36 a , 36 b , 36 c	粘着テープ	
37	接合部	
38	開口部	
39	くぼみ部	40
40	尿取りパッド	
41	トップシート	
42	吸収性部材	
43	バックシート	
44	積層体	
45 a , 45 b	粘着テープ	
46	接合部	
47	開口部	
48	くぼみ部	

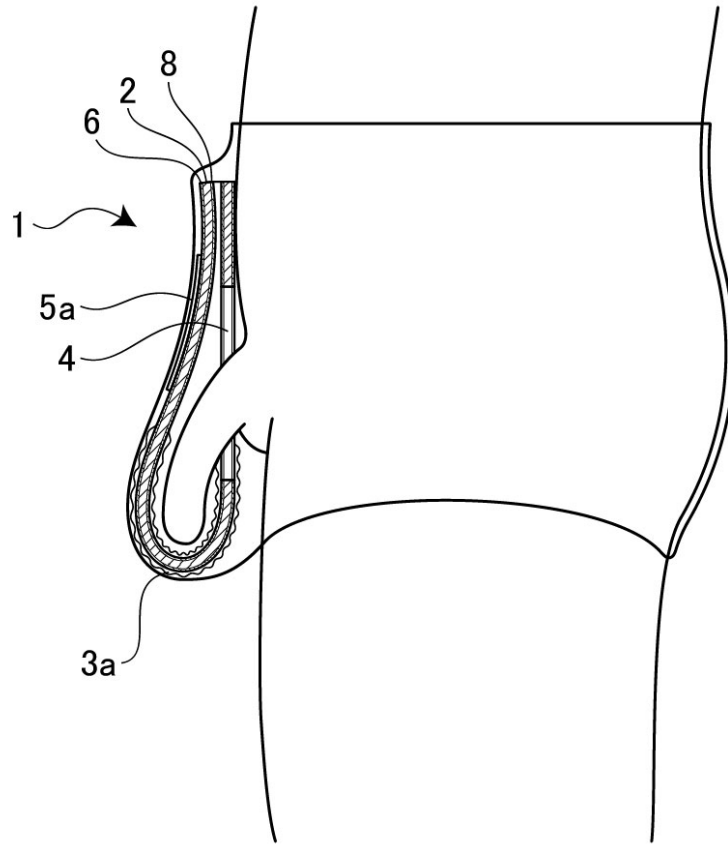
【図 1】



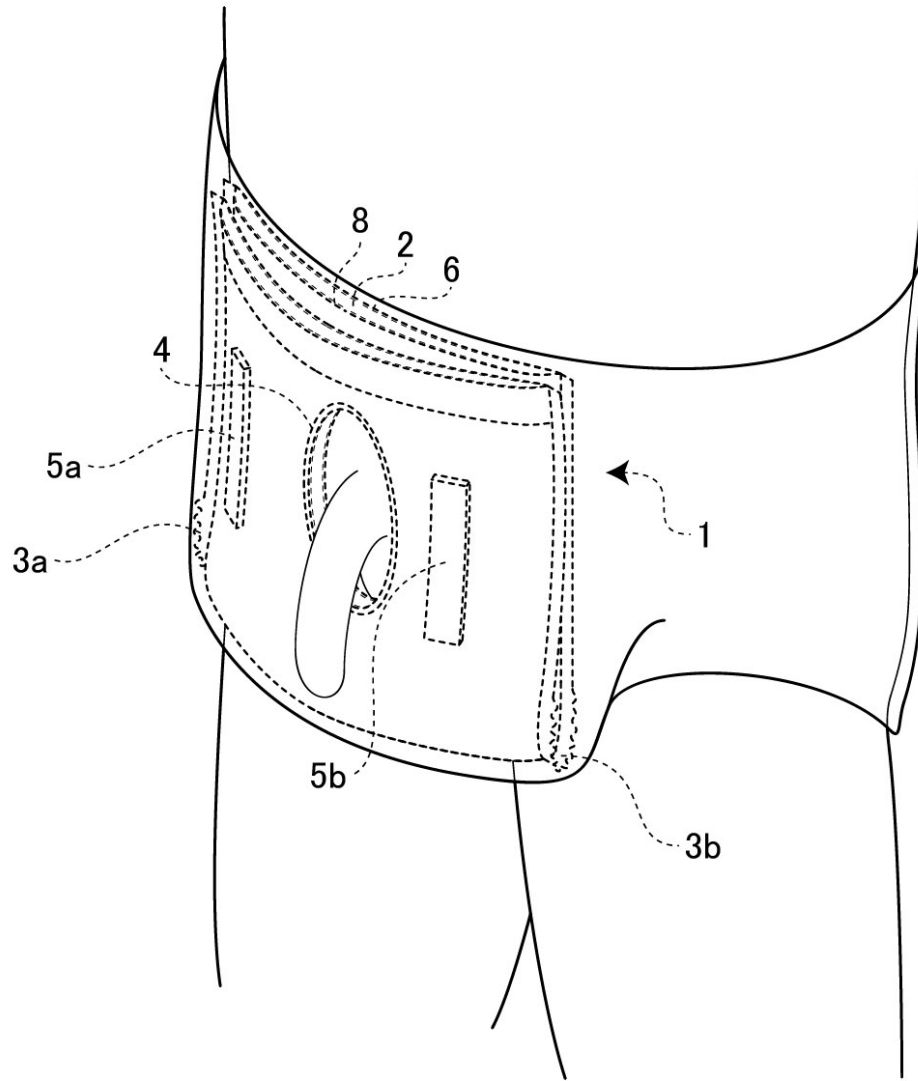
【図 2】



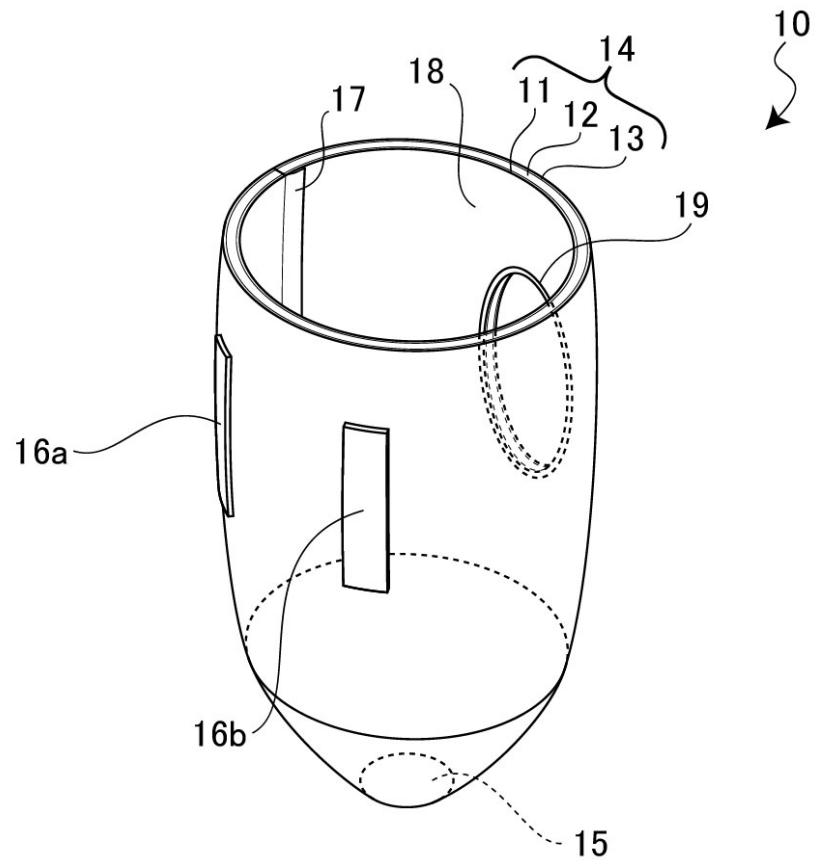
【 図 3 】



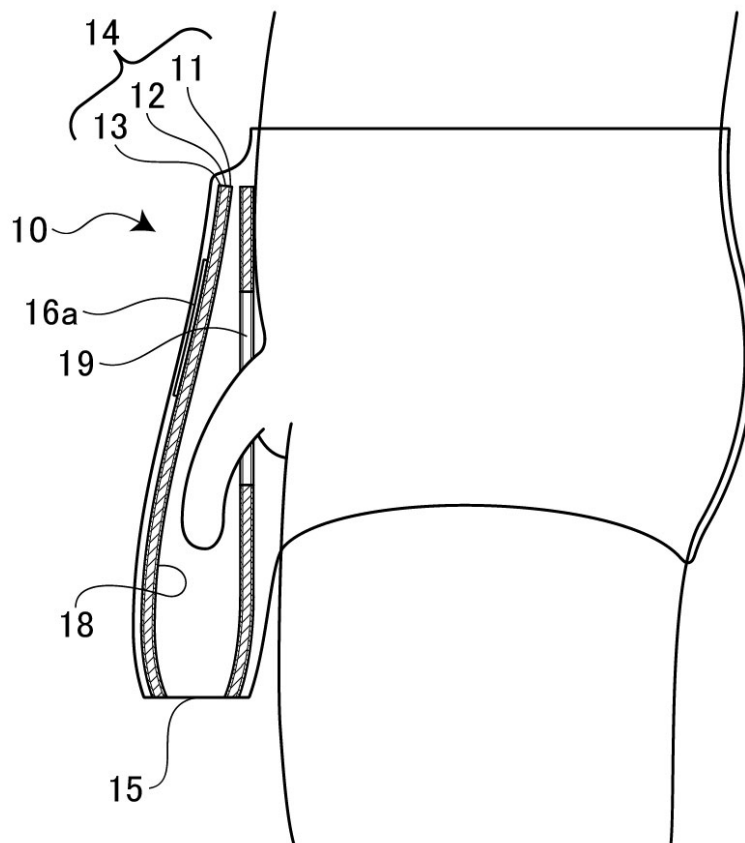
【図 4】



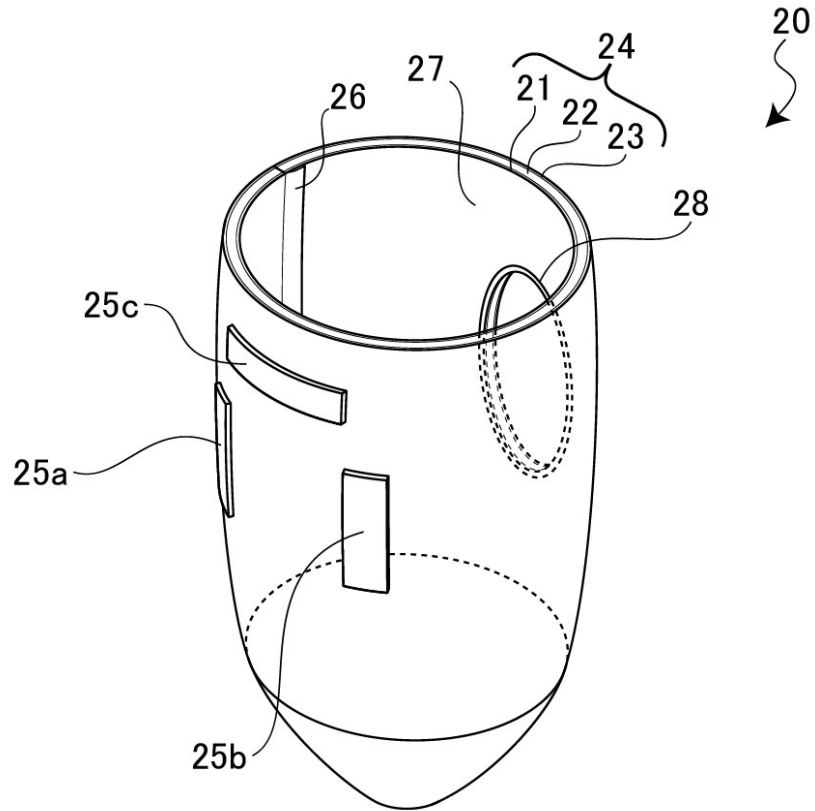
【 図 5 】



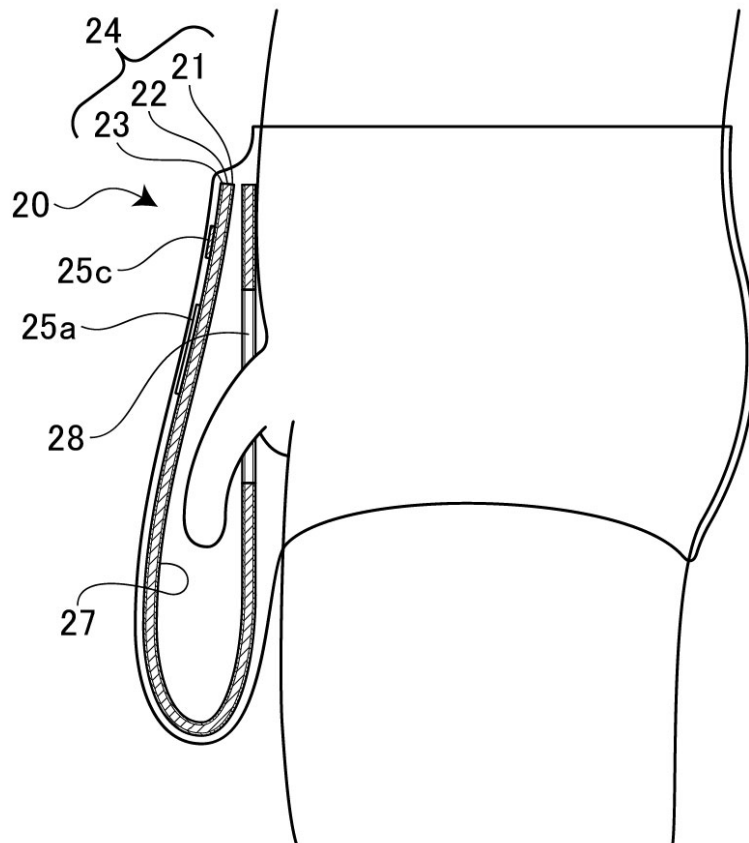
【 図 6 】



【 図 7 】

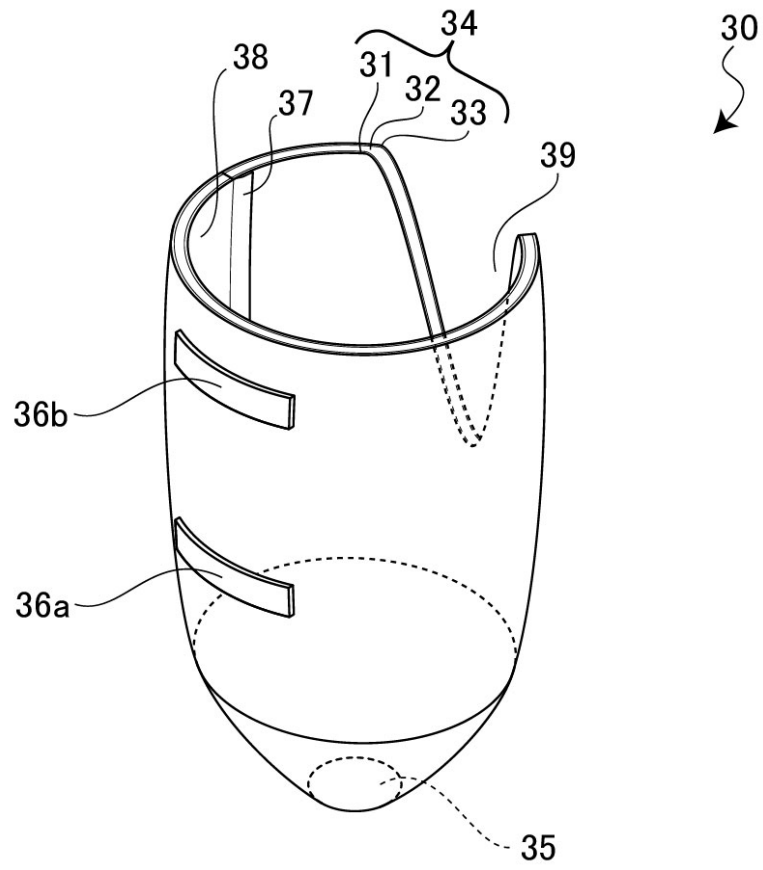


【 図 8 】





【図 9】



【図 10】

